

《日本とロシア》「私がこの社会でやってきたこと」(母校連続講演会)

主催・札幌大学(総合研究所) ロシア文化センター

「日本とロシア」をキーワードに、札幌大学ロシア語学科(のちロシア語専攻)の卒業生が卒業後の業務や社会的活動とその意義などについて、講演を行ないます。聞き手は現役学生がメインですが、同大学出身者・関係者の聴講も可能です(以下敬称略)。

場所 札幌大学図書館 SWING (対面式講演。講演時間1時間、質疑応答30分)

日程 (二〇二三年11月～二〇二四年1月)

○第1回11月7日(火曜) 14時40分開始(以下同様)。

「クニージニク(本屋)として働いてきた」(村野克明、昭和51年度卒、ロシア語翻訳家、元ナウカ社勤務)。

○第2回11月30日(木曜) 13時00分。

「通訳者として…交流の懸け橋、通訳協会会員として…経験交流と後進育成、経営者として…通訳者のための環境整備」(大島剛、昭和62年度卒、ロシア語通訳者、元ルテナ代表)。

○第3回12月20日(水曜) 13時00分。

「私と海上保安とロシア」(山崎敏則、昭和55年度卒、元海上保安庁勤務)。

○第4回二〇二四年1月18日(木曜) 13時00分。
「ロシア語教育と研究活動への関わり 言葉の背景にある文化・社会に触れながら知見を深める力を養う」(鈴木理奈、平成4年度卒、札幌医科大学ロシア語講師)。

・総合司会 山田隆(ロシア文化センター長)。

